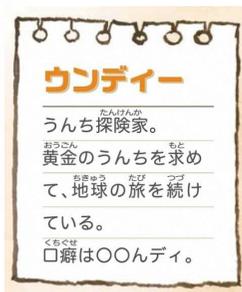


ニーズに応える広報の手段



令和5年度 下水道場 広報班



和歌山県 小宮



仙台市 湯山



安城市 土田



北九州市 寺田

広報の主な目的

- 必要な情報の共有（災害や工事・制度の共有など）
- 魅力発信（新たな人に興味を持ってもらう・知ってもらう）

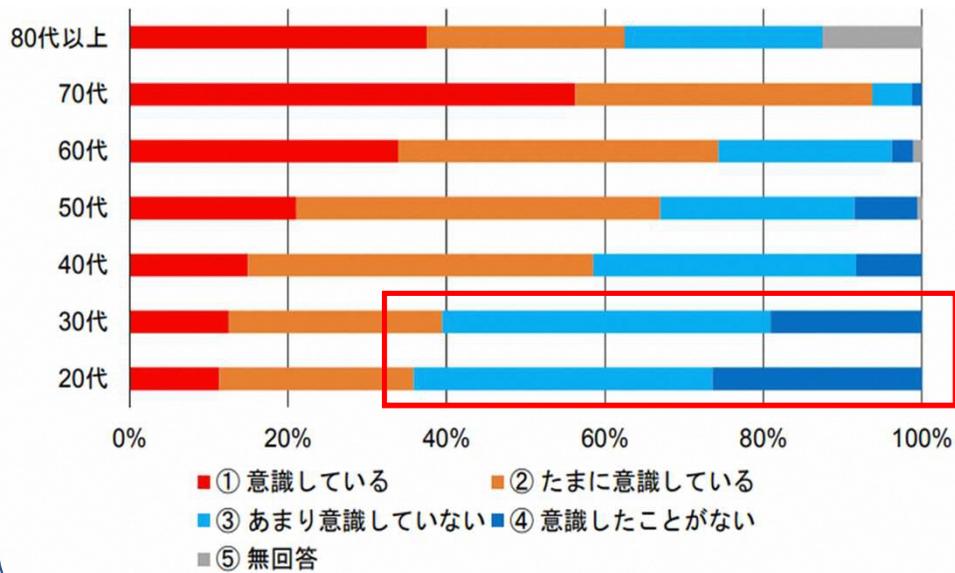


広報により下水道分野で期待できる効果

- 下水道の役割や重要性の認知
- 下水道接続人口の増加（使用料の確保・環境保全）
- 事業への理解促進（予算の確保・工事への理解）
- 下水道業種へ興味を持つ人の増加（人材育成）
- 民間企業との協力

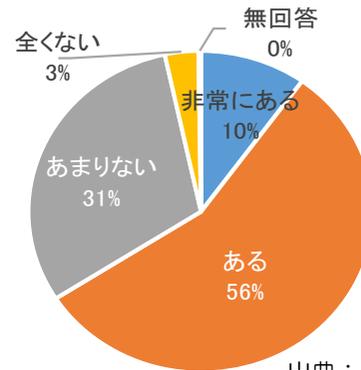
現状（課題）

【年代別】 普段生活を送っている中で「下水道」について意識したことはありますか。



出典：国土交通省 下水道に関する意識調査の結果

【問】 下水道事業や水に関わる衛生環境について、関心がありますか。

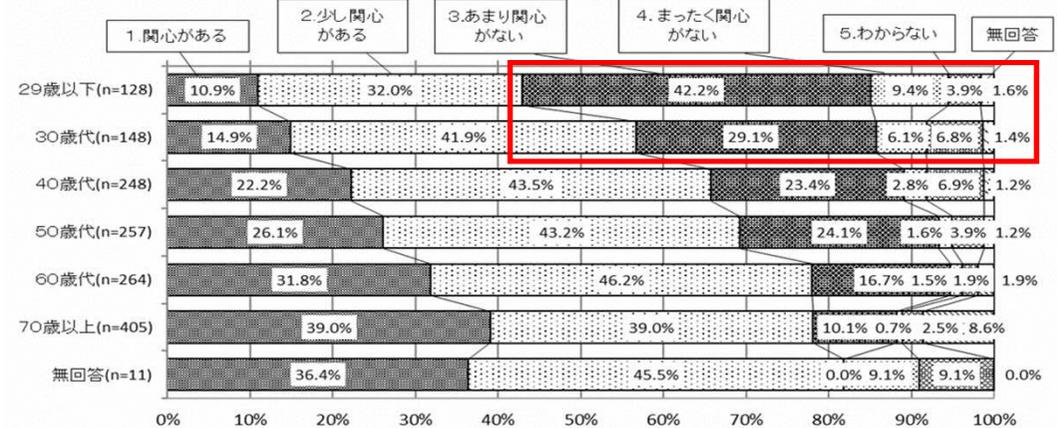


関心がある→年齢が高い人が多い
関心がない→若者が多い

凡例	回答内容	集計	割合
■	1. 非常にある	82人	10%
■	2. ある	462人	56%
■	3. あまりない	253人	31%
■	4. 全くない	26人	3%
■	無回答	2人	0%
	計	825人	100%

出典：R4.10 安城市下水道事業に関するアンケート調査結果報告書

【問】 下水道の状況や取組みに関心をお持ちですか。



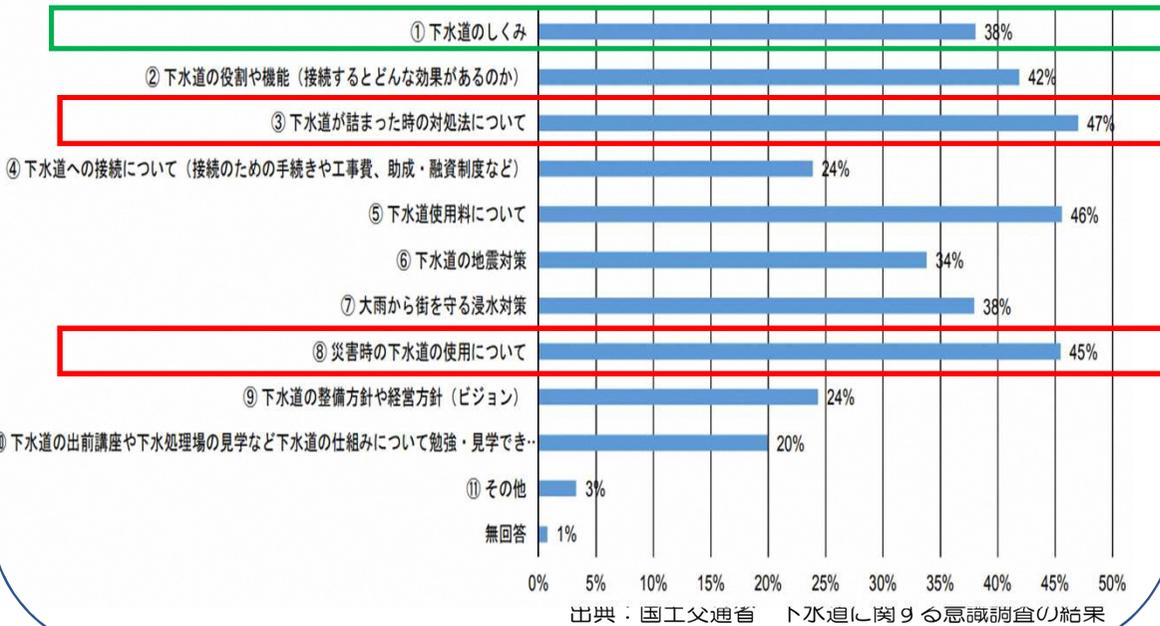
出典：R4.12 仙台市下水道サービスに対する市民満足度調査



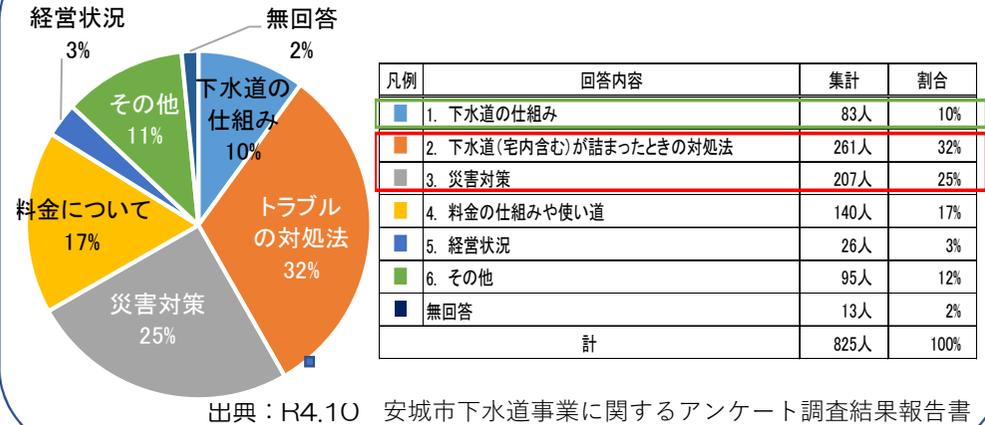
意識したことがない・関心がない人が多い
特に若年層へのPRが必要

現状（住民のニーズ）

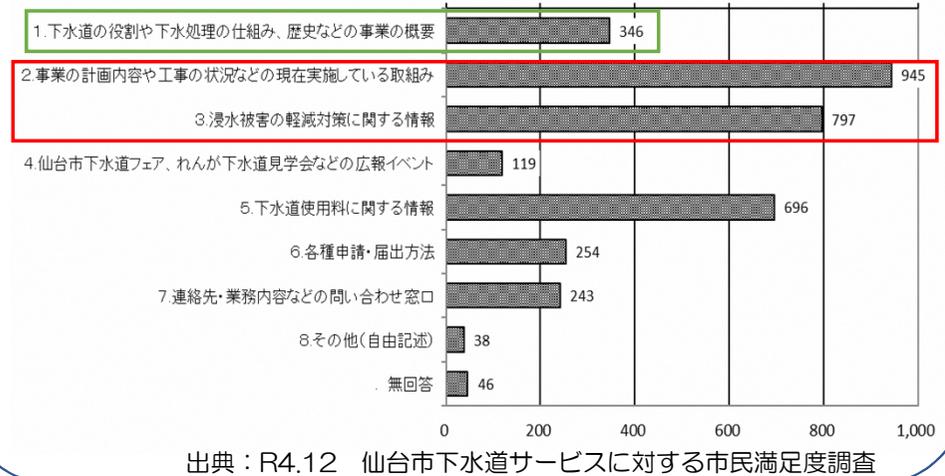
【問】下水道に関する情報で、あなたが知りたい情報はどのようなものですか。



【問】下水道について知りたい情報はどのようなものですか。



【問】下水道について、どのような情報を知らせてほしいですか。



住民のニーズとして
防災情報、教育への関心が高い

課題

現状への課題

- 若年層へのPRが不足
- 新しく興味を持つきっかけが必要

ニーズをふまえた課題

- より多くの情報発信が必要（主に防災情報）
- 教材コンテンツの充実、情報の更新が必要

解決案の列挙

- 体験型、参加型イベントによる若年層（子供や子育て世代）へのPR
- 下水道施設の3Dモデル化
- 効果的なタイミングでの広報
- メディアに取り上げられる注目度の高い取り組み等の企画
- 梅雨や台風直前に防災マニュアルの周知
- 地域（隣接市町村や流域単位）での共同的な情報の発信
- 全国共通の教材（動画コンテンツ等）を配布
- 最新の解説動画の作成
- 学生と民間企業、自治体のワーキンググループ（下水・広報版）

課題

現状への課題

- 若年層へのPRが不足
 - 産官学で実施するワーキンググループ
- 新しく興味を持つきっかけが必要
 - 気軽に目につく情報発信

ニーズをふまえた課題

- より多くの情報発信が必要（主に防災情報）
 - 地域での共同的な情報発信
- 教材コンテンツの充実、情報の更新が必要
 - 教材の配布(デジタルデータ等の有効活用)

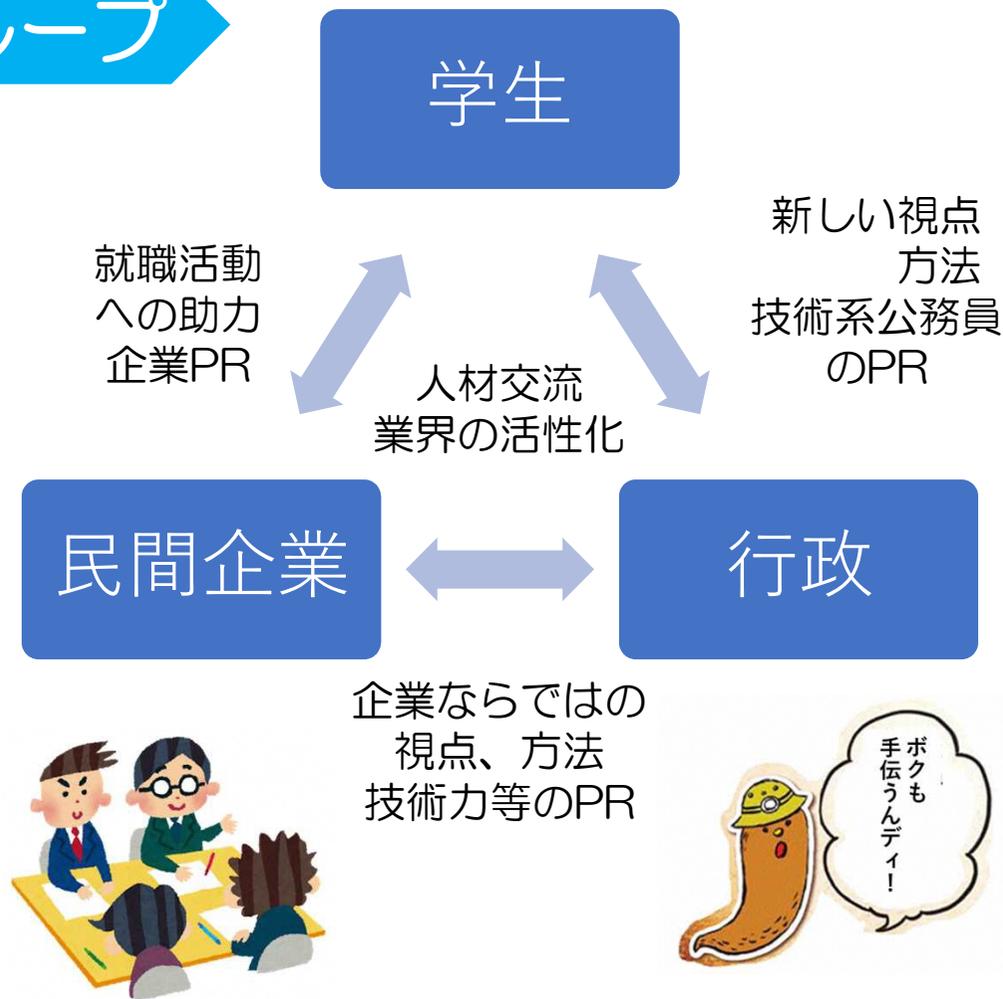
現状への課題に対する解決方法

産学官で実施するワーキンググループ

- お互いの長所を活用できる方法の検討
- 企業、学生からの 新たな視点、手法を活用
- 新たな広報手段で 興味を持つきっかけに
～副次的な効果として～
- 就職活動への助力
- 参加企業の企業PR
- 学生への技術系公務員のPR
- 人材交流による業界内の活性化

持続可能な活動にするためには

- 都市計画系WGの一環として、都市に不可欠である地下インフラの様々な課題を考える場所としてWGを活用



現状への課題に対する解決方法

気軽に目につく情報発信

きっかけ作りで重要なのはいかにして目に触れるかどうか！

☆下水道施設を使用したゲームを作成

- マンホールにAR機能を付与
- マンホールカードを集めるだけでなく、トレーディング化
- 既存のゲームとコラボ



☆SNSでバズをねらう

- 下水道の役割や使い方をショートアニメで紹介
- 各地のマスコットキャラのグッズを作成



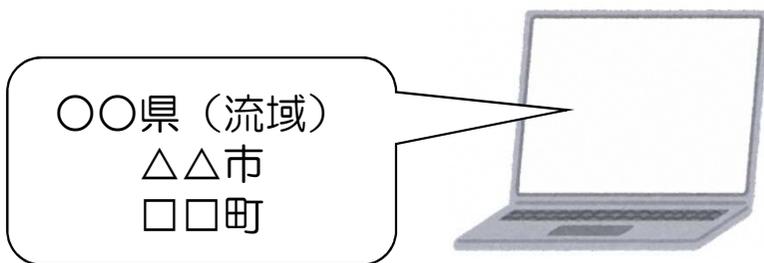
目に触れやすくなることで気軽に下水道をすることができる！

ニーズをふまえた課題に対する解決方法

地域での共同的な情報の発信

○X、LINE等SNSのアカウントを共同で使用し、
順番に情報を発信

○広報誌の共同作成



流域単位や隣接自治体は住民の生活圏や気象条件が同じ場合が多く、
活動やイベントのPR・災害情報などの効果的な発信が可能

○SNSは広報誌より気軽に情報を入手でき、いつでも確認ができる
○近隣市町村へのイベント参加機会増
○互いの自治体の情報共有や職員不足への対策にも

ニーズをふまえた課題に対する解決方法

教材の配布（デジタルデータ等の有効活用）

近年の教材の変化

紙媒体からタブレット端末へ
（デジタル教科書の導入）

下水道の教材

既に多くの自治体で、児童向けの
資料（動画コンテンツ等）有り。



例えば・・・



安城市公式YouTube



北九州市 キッズサイト



公益社団法人 日本下水道協会

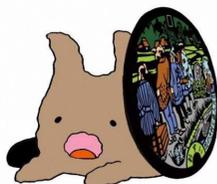
タブレット端末に全国(地域)統一の教材を配布して、興味を持った時にいつでも見れる環境を整備！

そのほかにも



仙台市 かんとくん

産官学民連携で
教材を作る

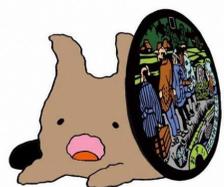


安城市 おでいさま

広報大賞を受賞した
コンテンツを
いち早く共有

デジタル化を活かして
最新の情報を全国で配布する。
教材を豊富に。

ありがとうございました！！



安城市 おでいさま



仙台市 かんたくん



北九州市 スイッピー



和歌山県 きいちゃん